

(オ) 季節を感じよう！工作プログラム

会場：こどもの国際理解展示室（以下、理解室）及び国際平和展示室（以下、平和室）

対象：未就学児とその保護者、小学生

内容：季節に合わせた工作ワークショップを実施します。

効果：子どもたちの感性を育むとともに、学校の図画工作の授業では学べない新しい視点を提供します。

B 展示企画事業

ア 事業実施の考え方

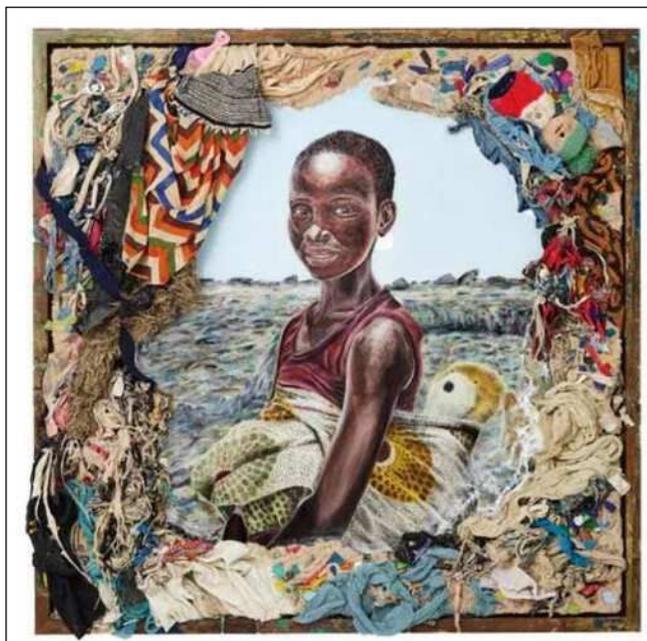
以下の工夫を行い、プラザの設置目的を踏まえた、国際理解や国際平和、地球規模の諸課題、多文化共生等をテーマとした企画展を開催します。

- 多様な視点を学べるように、様々なジャンルの企画展を開催します
- 校外学習の児童・生徒の来場を促すように、ワークシートを作成し、学習の機会を設けます
- どの年齢層も来場しやすいように、カプセルトイやクイズ等の様々な仕掛けを作ります
- SNSでの拡散を狙い、視覚に訴える展示要素を盛り込みます
- 平日限定招待券を配布し、休日の混雑緩和策を講じます
- 映像ライブラリー、展示コーナー、架け橋などの館内全域を使用して、関連企画を実施します

イ 提案内容

(ア) **世界初の「BONBO STARS」作品、横浜に上陸**

「MAGO」と「BONBO STARS」展



内容：世界最大級の電子機器の墓場「ガーナ・アグボグブローシー」から生まれた作品と、スラ

ム街でアーティストを志す人々が描いた作品「BONBO STARS」がコラボ。世界初の「BONBO STARS」作品を展示します。

効果：廃材アートから、地球規模の課題を身近に感じ、自身の生活や国際協力について考えるきっかけ作りをします。

■ MAGO：長坂 真護 美術家

MAGO CREATION 株式会社 代表取締役

1984年生まれ。2017年6月、ガーナのスラム街・アグボグブロシーを訪れ、先進国が捨てた電子機器を燃やすことで生計を立てる人々と出会う。以降、廃棄物で作品を制作し、その売上から生まれた資金で現地にリサイクル工場建設を進めるほか、環境を汚染しない農業やEVなどの事業を展開。ガーナに「MAGO MOTORS LTD」を設立し、現在ガーナ人77名が働いている。(2025年1月時点)

■ BONBO STARS

スラム街でアーティストを志す人々が描いた作品。MAGOは、2017年にガーナのスラム街で「スラム街からスーパースターを生み出そう」という「BONBO STARS プロジェクト」を開始。このプロジェクトでは、現地の青少年に絵を描くことを指導し、画家となるべく志願した子の絵を販売。

引用：「長坂真護 OFFICIAL SITE」

(イ) 「昭和」の意味を再度問う

写真展「写真家が捉えた 昭和の子ども」

内容：どんな時にも笑顔があった！子どもは時代を映す鏡です。木村伊兵衛、土門拳、濱谷浩、林忠彦ら日本の写真史に名を残す写真家の作品を中心に、各地方で写真活動を続けた写真家を含めた、全19名の写真家が捉えた、たくましく微笑ましい姿を含め、昭和の子どもたちを一望にします。

効果：昭和の子どもの姿を通して、戦争の歴史を振り返るとともに、現在・未来の平和のために、一人ひとりにできることを考えるきっかけ作りをします。



(左) 土門拳「おしくらまんじゅう」(右) 土門拳「笑う子」

引用：「株式会社クレヴィス」

(ウ) 大人に伝えたい、子どものこと

「こどもの視展」×世界の「こどもの視展」

内容：「ベイビーヘッド」「ベイビーボイス」「大人ランドセル」等、「大人が子どもになって世界をみる」体験展示を行います。大人が「子どもにしかできない経験」を体験すること

ができます。

効果：子どもと社会のより良い関係やコミュニケーションについて考えることができます。また、カナガワビエンナーレ国際児童画展の作品を展示することで、「世界の子どもたちの視点」から海外の子どもたちの環境や文化を学ぶことができます。

(エ) **伝えたいことは、ネコだけじゃない**

写真展「岩合光昭の世界ネコ歩き 2」

内容：写真家・岩合光昭が訪れた、世界 60 ヶ所以上の撮影地のうち 16 地域の個性溢れるネコたちの作品約 170 点を展示します。

効果：ネコの背景にある、世界各国の環境や文化を学びます。



引用：「株式会社クレヴィス」

(オ) **バーバーパパもやってくるかも？！**

「オバケ？」展 ～史上初のオバケ万博へようこそ～

内容：世界のオバケ？「バーバーパパ」をはじめ、様々なオバケを紹介します。オバケ？が生まれる背景にある、その国・地域の文化や歴史に触れます。

効果：新しい切り口で世界の文化を知る体験型展示で、国際理解を促します。



(カ) **学校連携、それがキーワード**

神奈川県中学校文化連盟芸術祭 神奈川県中学校美術展

内容：県下の中学校 400 校の代表美術作品が一堂に会する作品展を開催します。アートを切り口にした国際理解を深める催し物も同時開催します。

効果：あーすぷらざ利用層としては少ない中学校と連携することで、生徒たちの常設展示の利用を促し、地球市民としての学びを提供することを狙います。



(キ) **国際問題を、発信する**

拉致被害者の写真パネル展

拉致問題解決を重要な課題と位置づけ、普及啓発のパネル展を開催する。(観覧無料、会期は5日以上)。

C 映像ホール事業

県民向けにプラザの設置目的に沿った多様な作品を上映する(年150回以上)。また、土日祝日、春季休業、夏季休業、冬季休業を中心に、こども向けの上映会を行う(こどもの料金は無料)。拉致問題に関するパネル展にあわせて、映画めぐみ上映会を行う(観覧無料。年1回以上)。

ア 事業実施の考え方

開催の曜日や時間などを複数設定し、来館のきっかけになる話題作を上映することで、様々な層を取り込んでいきます。

イ 提案内容

(ア) 「アースシアター」

日程：土日祝を中心

内容：シネコン(複合施設に併設された映画館)では上映の機会が少ない良質な映画やドキュメンタリー作品等を上映します。また、作品によっては、監督や関係者を招いたアフタートークも実施することで、動画サイトでは学べない付加価値を付けていきます。



効果：「あーすぷらざでしか観られない」ような作品を上映することで、巷の映画ファンを取り込み、様々なジャンルに挑戦することで、新規のプラザ来館者を生み出します。

■上映作品（予定）

国際理解・異文化理解

1	世界のはしっこ、ちいさな教室	2021年	82分
	シベリア、ブルキナファソ、バングラデシュを舞台に、3人の先生の奮闘と学びに目覚めた子どもたちの姿をとらえたドキュメンタリー。		
2	小学校 それは小さな社会	2023年	99分
	イギリス人の父と日本人の母を持つドキュメンタリー監督・山崎エマが、公立小学校で長期取材を実施。掃除や給食の配膳などを子どもたち自身がおこなう日本式教育における協調性を身につけていく子どもたちの姿を映しだす。		
3	もったいないキッチン	2020年	97分
	日本が世界に誇る「もったいない」。“もったいない精神”に魅せられオーストリアからやってきたフードアクティビストが日本を旅して再発見！目から鱗のドキュメンタリー！		

地球規模の課題

1	グレート・グリーン・ウォール	2019年	92分
	マリ出身のミュージシャン、インナ・モジャが音楽で人々をつなぎ、壮大なアフリカン・ドリームの実現のため、気候変動の最前線へと旅する音楽ドキュメンタリー。		
2	コペンハーゲンに山を	2020年	51分
	“未来都市とサステナブルな環境づくりは両立可能”と建築家ビャルケ・インゲルスはコペンハーゲンに“人工の山”を出現させる奇想天外なアイデアを打ち出した。		
3	グリーン・ライ ～エコの嘘～	2018年	97分
	スーパーで見かける「環境に優しい」商品。買うだけで野生動物や熱帯雨林が救えるというが本当だろうか？真実が知りたくなったブーテ監督は、専門家と共に実態を探る旅に出発する。		

人権・多文化共生

1	マイスモールランド	2022年	114分
	在日クルド人の少女が、在留資格を失ったことをきっかけに自身の居場所に葛藤する姿を描いた社会派ドラマ。		
2	海の上のピアニスト イタリア完全版	2020年	170分
	「ニュー・シネマ・パラダイス」のジュゼッペ・トルナトーレ監督が、船上で生まれ育ち一度も船を降りなかったピアニストの生涯を描いた「海の上のピアニスト」の完全版。		
3	ドーナツキング	2020年	98分
	アメリカで「ドーナツ王」と呼ばれるカンボジア人男性テッド・ノイの人生に迫ったドキュメンタリー。		

平和			
1	私は憎まない 3人の愛娘を殺されてもお互いの可能性を信じ、ヒューマニティに基づき行動するガザ地区出身の医師、アブラエーシュ博士に迫るドキュメンタリー	2024年	92分
2	戦地で生まれた奇跡のレバノンワイン 度重なる戦争に翻弄されて来た国・レバノン。戦争ではなく平和をもたらすために内戦中にワイン造りを始めた修道院の神父や、虐殺が起こった故郷の村で村の再起のためにワイナリーを続ける夫婦など、ワインメーカーたちが人生哲学や幸福に生きる秘訣を語る。	2020年	95分
3	8時15分ヒロシマ 父から娘へ 広島に投下された原子爆弾を至近距離で被爆した父の凄絶な体験をつづった美甘章子のノンフィクション「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」を映画化。地獄のような状況にあっても生きることを諦めなかった父の思いと、父から娘へ受け継がれた平和へのメッセージを描く。	2020年	51分
4	“敵”の子どもたち 子どもに罪はない。せめて孫だけでも救いたい。娘がIS（イスラム国）に参加し死亡。遺された孫7人を救いたいと命がけの旅に出た男性の真実のヒューマンドラマ。	2021年	97分

(イ) 「大人のための木曜上映会」

日程：木曜日午後

内容：2階映像ライブラリー所蔵上映権付の作品を選定し、名作と呼ばれるクラシックな洋画や、資料性の高いテレビ番組（特に放送系の受賞作品）を上映します。

効果：映像ホールの一般利用が少ない木曜日の午後に実施することで、平日の来館者数の増加を狙います。

(ウ) 「こども上映会」

日程：土日祝日、春季休業、夏季休業、冬季休業を中心に

内容：2階映像ライブラリー所蔵上映権付の作品を選定し、海外のアニメや、NHK子ども向け番組等を上映します。

効果：子どもたちは、視聴によって常設展での学びに付加価値を付けることができます。また、常設展の混雑緩和対策の一つとしても実施することで、来場者に安心して利用してもらえる環境を作ります。

(エ) 「校外学習受入時の上映会」

日程：土校外学習、園外保育実施日

内容：2階映像ライブラリー所蔵上映権付の作品で、幼児教育や学校教育に必要な映像資料をリストとしてまとめ、教員によって選定された作品を上映します。

効果：子どもたちは、視聴によって常設展での学びに付加価値を付けることができます。

D 交流交歓事業

ア 事業実施の考え方

特定の国・地域を取り上げ、その国の暮らしや文化について紹介します。子どもたちを中心に、幅広い世代の方が参加できるよう、イベントの形式や会場は特定せず、トークイベント、ワークショップ、コンサートなど多様な形式で実施します。

テーマ設定：「国際交流年」「記念月」「国際イベント」「企画展」

講師選定：外国籍県民

外国に滞在経験のある人

各国の舞踊や音楽、芸能等に精通している人

イ 提案内容

1	民芸 ワークショップ 	テーマとなる国の特徴ある伝統工芸、伝統芸能などを学び、体験する。 【過去の実施例】 「古代エジプト体験！クイズで学ぶエジプト&パピルス葉と練り香水をつくろう！」「ウクライナの伝統人形をつくってみよう」「親子でつくるトートバッグ～トルコの木版バスク～」 「見て！まねて！体験！ベトナム伝統舞踊」「体験！勝ちなし負けなし！秘密の格闘技カポエイラ」「ローマ発祥 ミクロモザイク作り」
2	民族音楽 コンサート 	神奈川県内を中心に国内で活躍している個人、団体を招き、民族音楽のコンサートを実施する。 【過去の実施例】 「たいけん！ミッドサマーコンサート♪」「ミニコンサート&トーク チャランゴ系 YouTuber がお届けするボリビア！」「感じようカリブの風♪ドラム缶楽器スティールパンミニコンサート」「音楽で旅するシルクロード ウズベキスタンとドゥタール」
3	トークイベント 	大使館や官公庁関係など、テーマとなる国に特に詳しい方を呼び、その国の文化について掘り下げて講義を行う。 【過去の実施例】 「ボンジュール！ニコラさんの『あま〜い』おはなし〜フランス〜」 「ようこそブラジルカフェへ〜日系人ってどんな人？〜」「夏の研究！モルディブの世界をのぞいてみよう！」
4	交流ワークショップ	神奈川県に在住している外国籍県民を講師に、出身国の暮らしや文化について写真を交えて紹介したり、子どもの遊びなどを一緒に体験したりする。



【過去の実施例】

「ハヴィリさんのトンガとラグビー」「ガラパゴスのホセさんと作って踊ろう！『ディアブロ・ウマダンス』」「教えてメイサさん！～UAEとアラビア語」「テーテーさんのミャンマーの教室」「おしえてダオさん！～美味しいベトナムグルメ～」

E 地球市民学習事業

ア 事業実施の考え方

企画展と連動した企画として実施することで、より深く学びを提供します。また、講演会形式に加え、ワークショップやディスカッション形式を取り入れることで、多角的な視点で学べる機会を提供します。

イ 提案内容

(ア) 「MAGO」と「BONBO STARS」展 連動企画 長坂真護トークイベント

内容：「電子機器の墓場」ガーナのスラム街アグボグブロシー。長坂氏はその電子ごみを使ってアート作品を生み出し、売上を資本に環境問題や貧困を解決する事業を起しています。2030年までに、世界の電子機器の墓場と呼ばれるガーナのスラム街・アグボグブロシーを含むガーナ人10,000名の雇用を目指しています。活動のきっかけや作品、事業内容についてのトークイベントを開催します。

効果：地球にとって良い選択とは何か、より良い未来のために一般市民である自分たちには何ができるのかを、参加者とともに考える機会とします。

(イ) 多文化共生シンポジウム×上映会

カメルーン×日本「漫画家とお笑い芸人が日本で育った結果」

内容：「まんがアフリカ少年が日本で育った結果」で知られるカメルーン人タレントで漫画家の星野ルネさんとカメルーン人ハーフでお笑い芸人のぶらっくさむらいさんの2名による多文化共生トークを開催します。加えて、ぶらっくさむらいさんが2歳で生き別れになった父親を探すため旅に出るドキュメンタリーを上映します。

効果：言葉や文化、考え方の違いなどの多様性を尊重し、個性や価値観を認め合い支え合う共生社会に向けて考えるきっかけ作りとします。

■【星野ルネ】

1984年カメルーン生まれ。4歳直前で母の結婚に伴い来日し、以降、兵庫県姫路市で育つ。25歳で上京。現在は、タレント活動の傍ら、幼い頃からの武器であった画力を生かし、SNSを使った表現活動を展開している。星野ルネツイッター：<https://twitter.com/renehosino>

■【ぶらっくさむらい】

日本とカメルーン人のハーフの芸人。2004年にアメリカに渡り、ニューヨークの演劇学校「HB Studio」で3年間、歌と演技を学んだ。シンガーソングライター、ミュージシャンだった経歴

を生き、ギター漫談、弾き語りを交えての替え歌、物真似、ラップ・一人コントなどをメインにテレビ・ライブ等で活躍中。出演番組、エンタの神様など。笑下村塾公認 SDGs ファシリテーター。

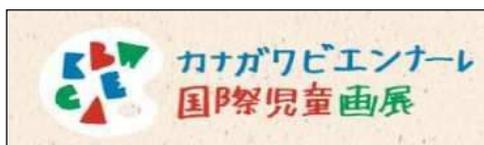
(ウ) 県内小・中学生向け特別イベント

パリオリンピックスケートボード金メダリスト「吉沢恋トークイベント」

内容：活躍するスケートボーダーを講師に迎え、嬉しいこと、つらいことなど、等身大のメダリストの気持ちを届けるトークイベントを行います。

効果：スケートボードは若者に人気のスポーツであるが、そのマナー等問題視する大人もいます。一流のアスリートの在り方・生き方を発信することで、スポーツと社会の融合を図ります。

F 「カナガワビエンナーレ国際児童画展」開催



ア 事業実施の考え方

1981年から継続して実施されている当事業の理念を理解し、絵画を通じて、こどもたちの夢と創造力を育み、神奈川のこどもたちに世界を、世界のこどもたちに神奈川を紹介し、国際理解と国際交流の推進を図ります。

イ 提案内容

(ア) 作品募集時期

独立行政法人国際協力機構（JICA）と連携し、開発途上国からの作品応募を促進します。JICAが管轄する青年海外協力隊の活動に作品制作を位置づけ、普段見ることができない開発途上国の子どもたちの豊かな感性を日本に届けます。



(イ) 表彰式の開催

MCに神奈川県よしもと住みます芸人を呼び、子どもたちを主役にした、「楽しくて仕方がない！！」と思い出に残る表彰式を実施します。また、式の様子をライブ配信することによって、海外から来日できない入賞者にも、祝福の気持ちを届けます。



(ウ) 展覧会の開催

来場した子どもたちに、海外の絵の技法を体験できるワークショップを開催します。



(エ) 県内市町村巡回展の開催

巡回期間の半年間でおおよそ12の自治体を回り、県下に

絵を通した国際交流を行います。

(オ) 応募作品の活用

入賞作品の貸出、選外作品の寄贈を促進し、絵を通した多文化共生の啓発を行います。特に、外国籍児童が多い愛川町や川崎、横浜市の小学校に広報を行います。子ども達の見目で描かれる、各国の文化、生活の様子など1枚1枚の絵から見えてくる事柄は、異文化への興味を引き出す効果が望めます。

(カ) デジタルミュージアムのホームページ運営

第1回展から入賞作品を掲載し、365日全世界から作品を閲覧できるようにします。

(キ) 5F架け橋展示スペースでの展示

選外作品を「笑顔」「鳥」「猫」などにジャンル分けし、展示します。



(ク) 3F企画展示室・2F展示コーナーでの展示

一般貸し出しがない期間に、選外作品等を展示し、絵を通した多文化共生の促進を貢献します。

G 展示運営・展示ボランティアの運営

ア 事業実施の考え方

常設展示室の来場者数は、当会が管理を開始した前年の57,497人（平成22年度）から令和5年度には92,154人になりました。展示室の運営にあたり、常設展示室が持つ特徴・魅力を最大限に活

【イメージ：常設展示室が持つ特徴】



かし、展示物と来場者をつなげ、来場者と来場者をつなげ、さらに世界と観覧者をつなげることを目指します。

イ 提案内容

(ア) 常設展示室等運営

① 一般観覧者、学習プログラム及び各種研修・視察への対応

- 案内業務

常設展示室の受付スタッフ及び巨人の国の安全管理スタッフは、館内施設や催し物について熟知し、的確な案内が出来る体制を整えます。

- 観覧者のケガや病気への対応

冷却パックを含む救急箱や嘔吐処理セット等を準備し、初歩的な応急措置や救命措置が出来るように、普通救命講習を受講し、安全配慮に尽くします。

- 混雑緩和策

ファンタジー展示室は、繁忙期になると、大勢の観覧者で溢れます。混雑緩和の為に映像ホールの活用や、人の分散を促すための国際理解展示室や平和展示室での企画、館内周遊策を講じて、観覧者が快適・安全に過ごせるように工夫します。

- 一般団体への対応

学童クラブ、ボーイ・ガールスカウトなど団体には、ボランティアによる展示案内プログラムの提供し、自治体主催の平和学習には、国際平和展示室での戦争体験談を盛り込んだプログラムを提供します。

(イ) 展示施設、設備の運営

① 展示室の施設・設備の運営

- 操作確認と安全で衛生的な展示室の維持

毎朝開室前点検として、展示室内の電子機器類の動作確認、展示資料の確認を行うとともに、乳幼児の利用が多いこどもファンタジー展示室内では特に安全管理を徹底し、衛生状態を保ちます。

- 定期的な展示物の入れ替え

展示室入口前ホワイエや展示室内の空間を活用し、開催中の企画展と連動したミニ展示交流交歓事業でとりあげる国を紹介するコーナーを設けるなど、リピーター層が満足できる配慮を行います。

- 最新情報を掲示

展示内容に関する最近の動きやニュースなどを可能な範囲で補助資料として提供し、観覧者の関心・学習意欲の向上につなげます。また、展示内容に関する関心や理

解を深めるために、他の施設の映像ライブラリー、情報フォーラムの情報提供、活用を促します。

② 各展示準備室、収蔵庫及び特別収蔵庫の運営

各展示準備室は、展示運営ボランティアと共にイベント物品や機材の保管場所として適切に利用します。収蔵庫及び特別収蔵庫は、温湿度管理を行い1年に1度防錆剤・防湿剤の交換を行い収蔵品の管理・保管を行います。

(ウ) 展示内容の充実及び機器の更新等

3つの常設展示室の充実の第一条件は、学習価値のある展示物にすることです。データ、機器、展示内容の更新など、迅速に対応していきます。

① 常設展示の展示物の追加

県と協議のうえ、以下の展示物の見直し・追加を実施し、施設の魅力を高め、リピーターを確保します。

・ 国際平和展示室

当会が JICA 地球ひろばの運営で培ったノウハウで、「地球規模の課題」ゾーンに、魅力的なハンズオンの展示物を追加します。また、「戦争の歴史」ゾーンでは、戦争語り部の証言を後世に残す展示を追加します。小学低学年からでも、十分に学ぶことができるように展示中に「?カード」を加え、「戦争・平和学習は難しい」という壁を取っ払う工夫をします。

・ こどもの国際理解展示室

県内の外国籍県民は、39人に1人が外国籍県民になりました。そこで、地域の国際化がより身近に感じられるように、日本に住む外国籍県民が、どのような暮らしをしているかにフォーカスし、ハンズオンの展示物やパネルや映像の資料を追加します。

・ こどもファンタジー展示室

子どもたちが安全に使用できる玩具を選定し、追加します。また、椅子や机、ブロックソファなど、細

乳児・幼児に配慮したものを配置



イメージ：JICA 地球ひろば



イメージ：パネル案



設置した電子ピアノ



部に至るまで配慮し、子どものための展示室を運営します。

② 常設展示の内容の更新

県と協議のうえ、「パネル展示のデータ及び解説については、毎年5展示以上更新」、「モニタープログラムについては、毎年2展示以上更新」を実施し、学習的価値を維持します。更新作業の際は、県国際課とコミュニケーションを密にし、安全性は勿論、教育施設でもあるあーすぷらざの展示室から新しく、偏りのない情報発信をします。

■こどもの国際理解展示室

同展示室では、実物や装飾物等が中心に設置されており、それらの更新は現状では予定していませんが、パネル展示データ「ラビリンスクイズ」の更新、モニタープログラム「ラビリンスに付属するクイズ」、「楽器紹介」、「再現家屋内」等の更新を予定しています。

■国際平和展示室

地球規模の課題を学ぶゾーンの展示データは、データ算出がおよそ5年以内になるように更新を行う予定です。モニタープログラムでは、「狭くなり地球」、「貧困・人口・環境」、「紛争」等の更新を進めます。

③ 運営の基盤となるモニターなどの機器の更新について

観覧者にとってより良い学びとなる展示仕様を、県と協議し、更新を行っていきます。

■こどもファンタジー展示室

同展示室では、基盤となる機器が多く設置されています。これらは、経年による汚れや機器の劣化が問題視されています。「ひかりのらくがき」「ものがたりのこまど」など、より良い機器への更新に努めます。

(エ) 展示ボランティアシステム運営

① ボランティアシステムの円滑な運用

連絡会を開催し、情報や課題を共有し、ボランティアシステムの円滑な運用を行います。また、「戦争体験の継承」や「幼児教育の在り方」等、課題の重要度に応じて、分科会も実施し、常設展示室においてより良いアウトプットができるように運営します。

② ボランティアの募集及び養成基礎・専門研修の実施

現在の登録ボランティアは、開館当初から登録の方が多く、高齢化が懸念されています。新規ボランティアの募集・採用には、近隣の大学生にも広報を行い、新しい視点を導入します。適切な基礎研修・専門研修を実施し、案内業務の質の維持・向上に努めます。

• 基礎研修案

- バイアス研修
- チームビルディング研修
- ハンズオン手法研修



- ・ 障がい者への合理的配慮研修
- ・ 専門研修案
 - ・ SDGs の動向を学ぶ研修、
 - ・ 神奈川県内の多文化共生の動向や課題を学ぶ研修
 - ・ 平和教育の進め方研修
 - ・ やさしい日本語の使用を促す研修
 - ・ 国際理解展示室展示国・地域の最新情報を提供する研修



H 校外学習の受入等

ア 事業実施の考え方

幼稚園/保育園、小学校・中学・高等学校など年齢や学年に合わせたプログラムの提案をします。校外学習の利用を通じて、個人の来館へとつなげます。

イ 提案内容

(ア) 教員等からの校外学習や出前授業の相談への対応

下見の打ち合わせでは、教員からの要望や、来館する児童の特徴、事前事後学習の有無などを聞き取り、当日の訪問がより充実したものとなるよう丁寧な相談対応を行います。

(イ) 支援学校等への合理的配慮

児童・生徒の持つ障がいに配慮し、同時時間帯に団体との重なりがないよう調整し、ストレスのない環境作りに努めます。また、食事や排せつ等の介助のためのスペースを確保し、合理的配慮を行います。

(ウ) 常設展示室をはじめとしたプラザ施設を活用した体験的な国際理解教育プログラム

3室ある常設展示室に加え、映像ホール、企画展示室なども活用し、生徒の年齢、学習状況に応じて、多様なプログラムを実施します。来館後はアンケート調査を実施し今後のプログラム改善の参考とします。

■ プログラム例

1	民族衣装・楽器プログラム	実際に民族衣装を着用、民族楽器を鳴らすことで、世界の人々の暮らしや文化を体験します。
2	世界のお家訪問プログラム	バングラデシュ、ブラジル、フィリピン、ネパールの再現家屋を訪問し、その土地ならではの工夫点をクイズにして、学びます。
3	「スーホの白い馬」体験プログラム	小学2年生の国語で「スーホの白い馬」を学ぶため、モンゴルに特化したプログラムを実施します。馬頭琴の演

		奏体験や、デール(民族衣装)の試着体験を通じて、モンゴルの遊牧民の生活を学ぶことができます。
4	平和学習プログラム	戦中前後を体験したボランティア・継承したボランティアからの話を展示案内と共に行い、将来の平和について考えるような学習の場を提供します。
5	ワークシートを活用した展示室の見学	展示物から見えてくる、世界の現状や課題などへの気づきを誘発するワークシートなどを作成、活用していきます。
6	映像プログラム	あーすぶらざオリジナルアニメーション「この星の上に」のほか、国際理解、平和、環境など学習のテーマに応じた映像作品を上映します。

(エ) 校外学習アウトリーチの実施

当会職員の青年海外協力隊の体験談をもとにした、国際理解講座を準備し、遠方に位置し、当館に来館できない学校への対応を行います。

(オ) 校外学習や出前授業の実施促進

校外学習及び出前講座のパンフレットを作成し、円滑な受入れと、広報活動を行います。年に一度、全県下の小・中学校及び支援学校に配布します。

I 【その他】応募者からの提案による指定管理事業

ア 事業実施の考え方

海外の伝統的な催しものや、主に海外で行っている企画を実施し、その意義を学ぶとともに、地域住民との交流の場となるように企画を行います。また、遠方で来館が難しい地域には、アウトリーチを行い、あーすぶらざが持つ「宝」を届けます。加えて、以下にあげる全事業を、コンスタントに実施するだけでなく、繁忙期と閑散期で使い分け、指定管理 5 年間のうちで、複数回実施します。

イ 提案内容

(ア) 仮装 DE ハロウィン

日程：10 月下旬

内容：ハロウィンに合わせ、世界のお化けを紹介する内容で、1000 人規模の地域のイベントとして実施します。

効果：近隣商店街と連携し、地域全体でイベントを行い、子どもたちを育てるといった気持ちを醸成します。



(イ) キャンドルナイト

時期：閑散期

内容：電気を消してスローな夜を過ごすキャンドルナイトを実施します。近接する港南台、洋光台で行われるキャンドルナイトイベントとの連携を図ることで、活動成果の広がりを企図します。

効果：日常的に使用している電力を見直すなどの生活習慣を考え直す機会となり、環境問題への意識を醸成していきます。



(ウ) SDGs フリーマーケット

時期：閑散期

内容：SDGs の目標の一つ、「12. つくる責任、つかう責任」に基づき、譲りたいものや再利用可能なものなどを持ち寄り売買や交換できる場を提供します。

効果：地域住民同士の交流の場として開催することで、資源の有効活用や環境負担を低減する活動が日々の生活の一部となる機会とします。



(エ) 館内全域スタプラリー

時期：通年

内容：QR コードやクイズを各場所に設置し、来場者はポイントでアクションをしながら、各所を回ります。

効果：来館者のタイミングで各所を周遊することで、自ずと多くの学びを得ることができます。

(オ) インターンシップ・教員研修受入れ

時期：通年

内容：高校生・大学生のインターン及び社会教育実習生や、現職教員の5年次、10年次研修の受入れを行い、適切な実習・研修を行います。

効果：実習・研修によって、あーすぷらざの目的を深く理解し、共に、多文化共生社会の実現に向けて歩む、仲間を増やしていきます。

(カ) SDGs カードゲーム出張講座（アウトリーチ）

時期：通年

内容：県内の学校で、SDGs に対してより深い学びを必要としている学校に対して、出張講座を実施します。

効果：講座を通して国際理解や多文化共生などの発見や気づきを得ることで地球市民意識を醸成するとともに、来館によるさらなる学びへの興味関心を促します。



(キ) 「スーホの白い馬」出張講座 (アウトリーチ)

時期：通年

内容：来館が難しい遠方の学校に対して、出張講座を実施します。

効果：講座を通して国際理解や多文化共生などの発見や気づきを得ることで地球市民意識を醸成するとともに、来館によるさらなる学びへの興味関心を促します。

(ク) あーすぷらざお宝 BOX 便 (アウトリーチ)

時期：通年

内容：国際理解・多文化共生事業を行っている団体・個人に対して、講座・授業・イベントにて使用することを目的に、世界各国・地域の衣装や民芸品、道具などを貸し出します。

効果：県民の国際交流や国際協力活動に対する連携・強化になるとともに、当館所蔵品の魅力発信、今後の来館にもつなげていきます。

< 2 > 情報・相談センター事業

地域における多文化理解の促進のための各種企画、図書・映像等の閲覧・視聴サービスの充実と、外国籍県民がくらしやすい環境づくりのための相談サービス機能の充実を目的に、映像ライブラリーと情報フォーラムの機能を正しく理解し、その機能の充実を、県内の多文化共生社会の拡充を図ります。

A ライブラリー事業

ア 事業実施の考え方

映像ライブラリー/情報フォーラムの専門図書館としての機能の充実を図るとともに、外国籍県民相談窓口が併設されているという特徴を生かし、言語を超えて使用できる多言語資料の充実を強化します。

イ 提案内容

(ア) 映像・図書資料の収集整備

「国際理解」「人権」「平和」「環境」「多文化共生」等に関する映像・図書資料を収集整備します。また、KL-NET (神奈川県図書館情報ネットワークシステム) を活用して、利用者サービスの向上を図ります。

(イ) 来館者への図書の貸出及び視聴覚資料の視聴サービスの提供

司書資格保有者を数名確保し、図書の貸出や視聴覚資料の提供を行なってきました。新たな図書や視聴覚資料が届いた際には迅速に受入作業を行い、資料提供をしています。

(ウ) 図書管理システムの管理運営

図書管理システムを運用して資料の管理を行うとともに、OPAC (オンライン蔵書目録) を利用し、館外でも資料の所蔵状況が分かるように情報提供を行っていきます。